

3. 統合の必要性

3.1 仙台湾のポテンシャル

(1) 東北のグローバルゲートとしての期待

① 北米西岸・東南アジア基幹航路を有する東北最大の国際海上コンテナ拠点港

- 仙台湾は、東北で唯一、北米西岸、東南アジアの国際海上コンテナ基幹航路のウィークリーサービスを有している。
- 仙台湾の外貿コンテナ航路は5航路・週5便体制となっている。
北米西岸/東南アジア(週1便)、東南アジア(週1便)、中国/韓国(週3便)

② 京浜港と連携協定を締結(H23.1)、京浜港フィーダー輸送量日本一

- 平成23年1月に仙台塩釜港と京浜港(東京港・川崎港・横浜港)は連携協定を締結し、内航フィーダー輸送の強化を図っている。
- 仙台湾は、週14便の京浜港等への内航フィーダー航路を有している。
- フィーダー輸送量は増加傾向にあり、平成20年では2位の清水港の2倍と日本一である。
- 今後とも、国際コンテナ戦略港湾である京浜港のサービスを東北の産業が享受していくため、京浜港フィーダーポートとしての仙台湾の役割は大きい。



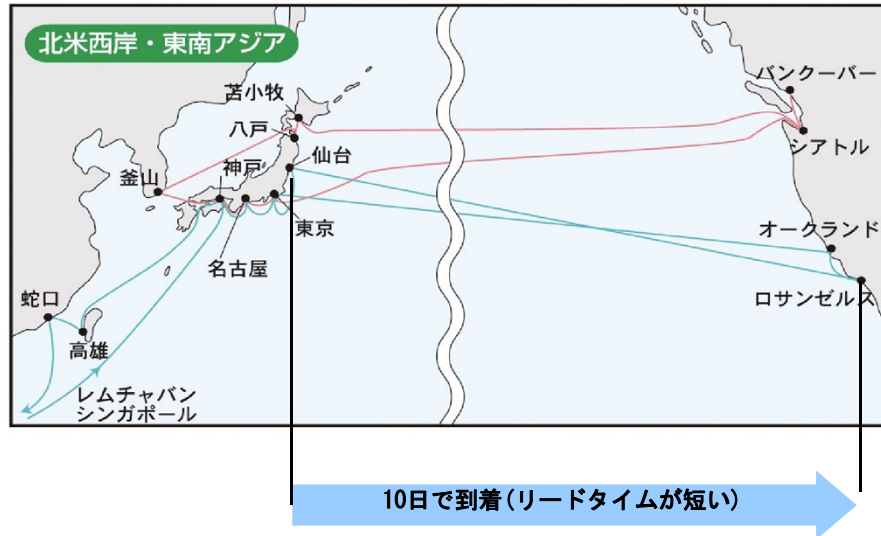
- ・仙台湾の東北地方港湾におけるコンテナ貨物量のシェアは10年間で約15%増
(H11:47.8%⇒H21:62.3%)
- ・仙台湾のコンテナ取扱量が10年間で約3倍(H11:6.4万TEU⇒H21:18.0万TEU)



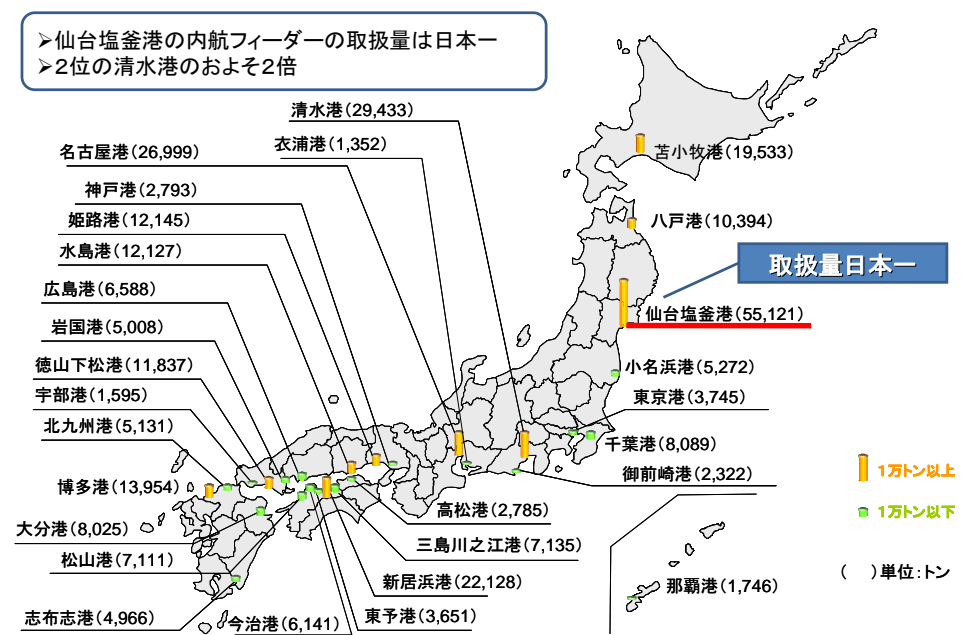
東北のコンテナ貨物の仙台湾への集積が進んでいる

早期の復旧、貨物の回復が期待される

仙台湾の北米西岸・東南アジア航路図

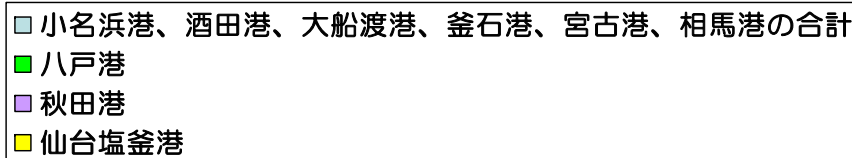
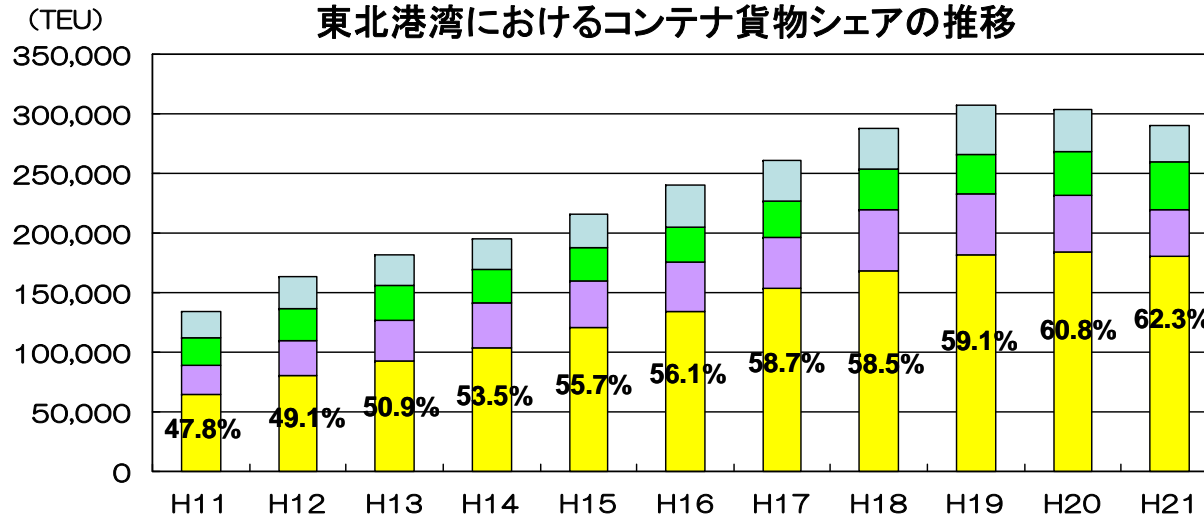


全国の内航フィーダー輸送量(H20)



出典:平成20年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査より国土交通省港湾局作成
※貨物量が1,000トン未満の港湾は省略

東北港湾におけるコンテナ貨物シェアの推移



注: 図中の%は東北港湾における仙台湾塩釜港のシェア

(2)東北の産業を支える拠点化の動き

1) 東北における自動車産業の集積の動き

①自動車産業の宮城県を中心とする東北南部への集積

- 近年、宮城県を中心とした東北南部への自動車産業及び関連産業の進出が進んでいる。
- これに伴い、宮城県の輸送機械の製造品出荷額等はH12年～H20年にかけて年々増加していたが、平成21年は平成20年の世界同時不況により減少した。全業種の約5.3%を占めている。
- 平成23年1月にはセントラル自動車の稼働も開始されている。

②仙台湾は東北の自動車産業の海上輸送拠点

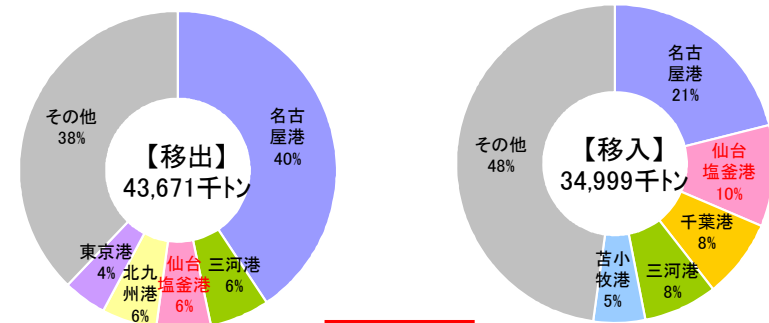
- 仙台湾の完成自動車取扱貨物量は増加傾向にあり、移出で全国第3位、移入で第2位（H21）

③関東自動車、セントラル自動車、トヨタ自動車東北の経営統合、エンジン工場の建設再開

- 国内第三の生産拠点の形成に向け、トヨタ系3社が2012年7月の経営統合やエンジン工場の建設再開を表明した。
- 車両増産による港湾取扱貨物量の増大や直接輸出も期待される。



完成自動車 移出入取扱量ベスト5(H21)



仙台湾は東北の自動車産業の海上輸送拠点

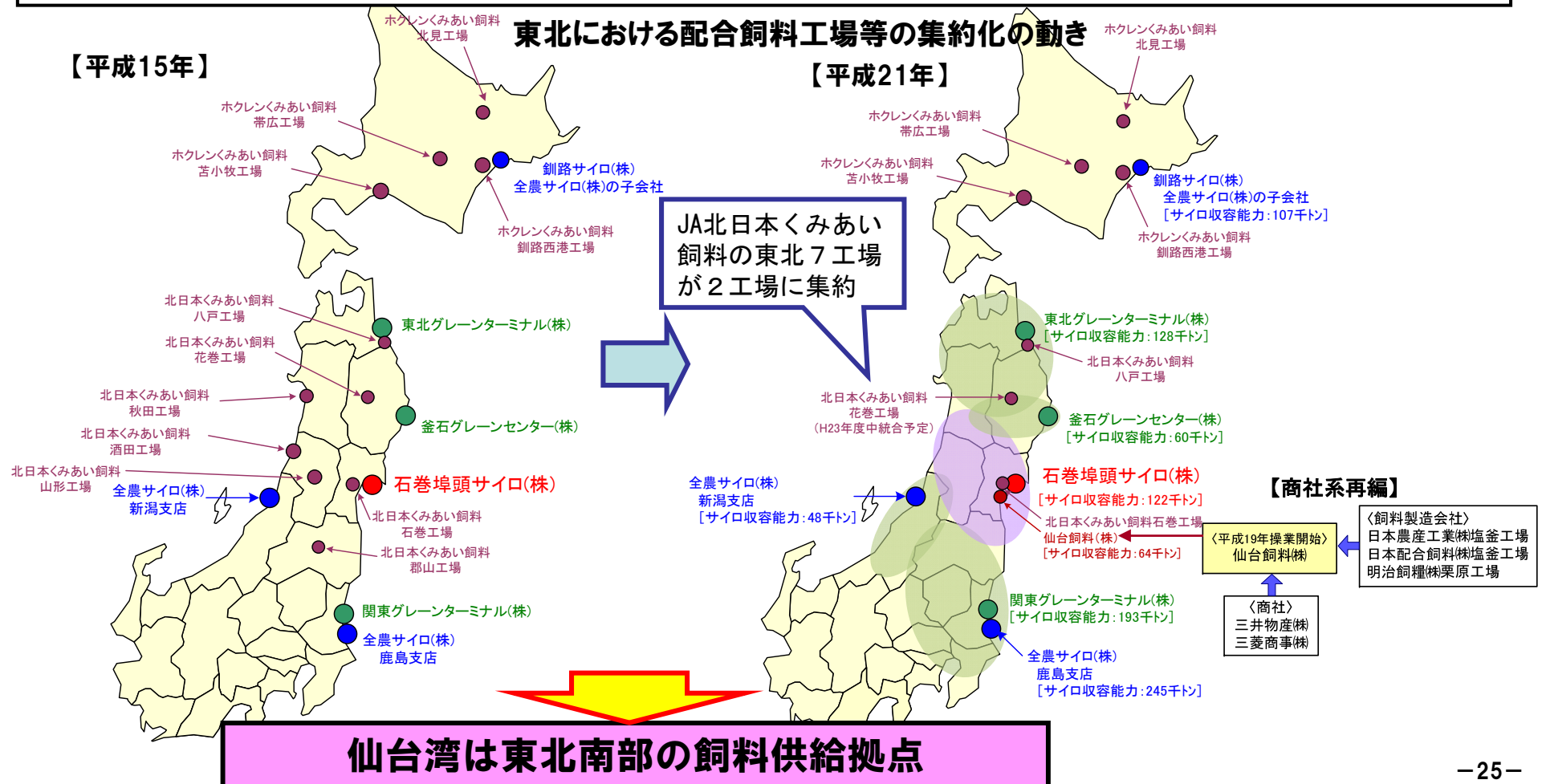
生産は早期に回復、さらに生産拡大の期待

2) 東北における工場再編・集約化の動き

事例-1

【穀物輸入港への集約化が進む飼料工場】

- 東北は、北海道、南九州とともに我が国の三大畜産地帯である。
- 東日本の穀物輸入港である鹿島港、石巻港、釜石港、八戸港から供給されている飼料工場は港湾近接地の工場へ集約が進んでいる。
- JA系の北日本くみあい飼料が7工場を2工場（石巻、八戸）に集約している。
- 仙台湾（石巻港、仙台塩釜港）は、東北南部の飼料供給基地としての役割が高まっている。



国際バルク戦略港湾の選定

◇国際バルク戦略港湾の目的と選定港湾

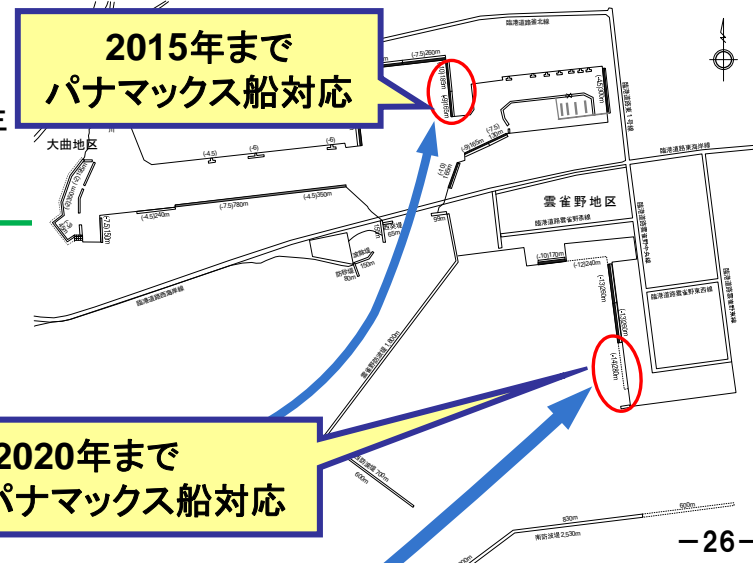
○国際バルク戦略港湾政策は、「大型船舶の活用により、対象品目を取り扱うアジアの主要港湾と比べて遜色のない物流コスト・サービスを実現し、それにより我が国の産業や国民生活に必要な資源、エネルギー、食糧等の物資を安定的かつ安価に供給すること」を目的とする。これにより、国際バルク貨物輸送における我が国産業の国際競争力を支援し、我が国での産業の立地と雇用の確保を目指す。

対象品目	選定港湾
穀物	鹿島港、志布志港、名古屋港、水島港、釧路港
鉄鉱石	木更津港、水島・福山港
石炭	徳山下松港・宇部港、小名浜港

○石巻港は、釧路港及び鹿島港の2港寄り輸送の連携港湾

【釧路港計画書】抜粋

- ・釧路港に立地する系統及び商系が連携したパナマックス船の共同配船を実施するとともに、苫小牧港の系統との連携による共同配船の体制拡大
- ・系統企業の連携が図られている苫小牧港、石巻港、新潟港を仕向港としたパナマックス船の2港寄り輸送及び八戸港を仕向港とした内航フィーダー輸送体制の構築を積極的に行い、2020年の概ね東日本をカバーする釧路港を核とした輸送網の基礎構築



◇石巻港におけるバルク戦略

- 2015年までにパナマックス船に対応
 - ⇒釜地区日和埠頭の増深、航路、泊地の増深
- 2020年までにポストパナマックス船に対応
 - ⇒雲雀野地区に大水深岸壁を整備

事例－2

【再編が進む製紙業界】

○平成8年に王子製紙と本州製紙が、平成13年に日本製紙と大昭和製紙が合併し、合併2社で国内市場の50%を占めている。

【国内の製紙業界で重要な地位を占める宮城県】

○紙生産量で日本製紙の石巻工場が第4位、岩沼工場が第7位

○パルプ生産量では石巻工場が第6位

○宮城県の紙・パルプ製造業の製造品出荷額等は東北の34%を占め、宮城県全産業の7%を占める

【紙・パルプ産業を支える石巻港】

○仙台湾は、紙・パルプ産業の原材料や燃料の輸入拠点として重要な役割を担っている。

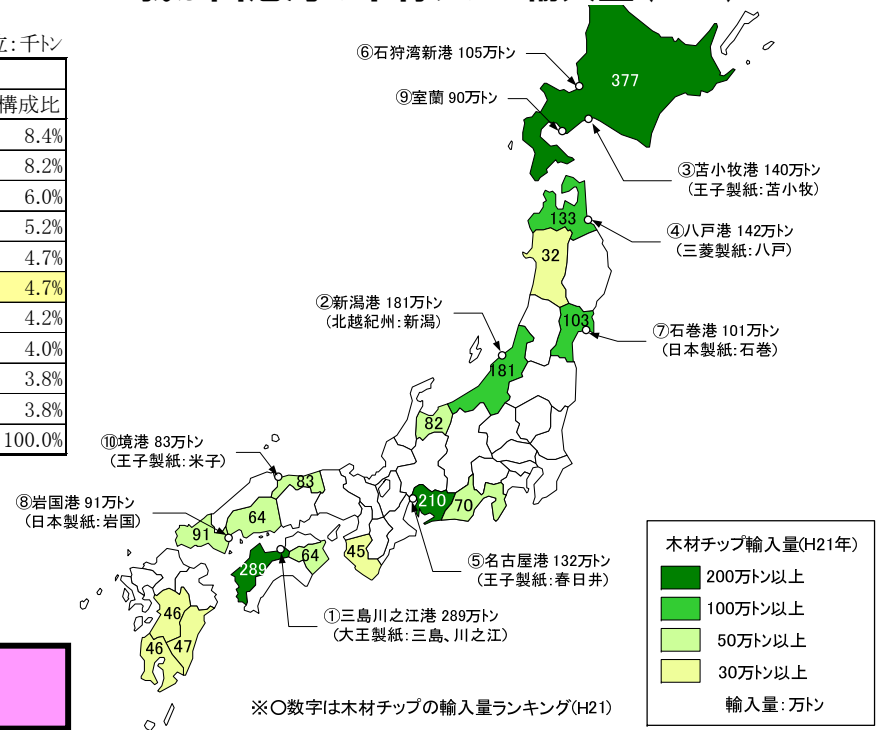
紙・板紙及びパルプ工場別ランキング (H21)

単位:千トン

順位	紙				板紙				パルプ			
	企業名	工場名	生産量	構成比	企業名	工場名	生産量	構成比	企業名	工場名	生産量	構成比
1	大王製紙	三島	1,314	8.3%	レンゴー	八潮	718	6.9%	北越紀州	新潟	724	8.4%
2	王子製紙	苫小牧	1,181	7.5%	東海パルプ	島田	476	4.6%	大王製紙	三島	704	8.2%
3	北越紀州	新潟	952	6.0%	日本大昭和	吉永	452	4.3%	三菱製紙	八戸	513	6.0%
4	日本製紙	石巻	839	5.3%	大王製紙	三島	400	3.8%	王子製紙	春日井	447	5.2%
5	三菱製紙	八戸	678	4.3%	興亜工業	本社	387	3.7%	日本製紙	岩国	399	4.7%
6	王子製紙	春日井	623	3.9%	日本大昭和	草加	321	3.1%	日本製紙	石巻	399	4.7%
7	日本製紙	岩沼	593	3.7%	王子板紙	釧路	318	3.0%	王子製紙	米子	359	4.2%
8	丸住製紙	大江	515	3.3%	レンゴー	利根川	316	3.0%	王子製紙	苫小牧	343	4.0%
9	日本製紙	岩国	481	3.0%	レンゴー	尼崎	307	2.9%	中越パルプ	高岡	324	3.8%
10	日本製紙	富士	477	3.0%	王子板紙	大分	306	2.9%	大王製紙	可児	323	3.8%
	合計		15,832	100.0%	合計		10,436	100.0%	合計		8,580	100.0%

資料:「紙・板紙統計年報」「パルプ統計」H21 日本製紙連合会

我が国港湾の木材チップ輸入量 (H21)



資料:国土交通省「港湾統計年報」、日本製紙連合会

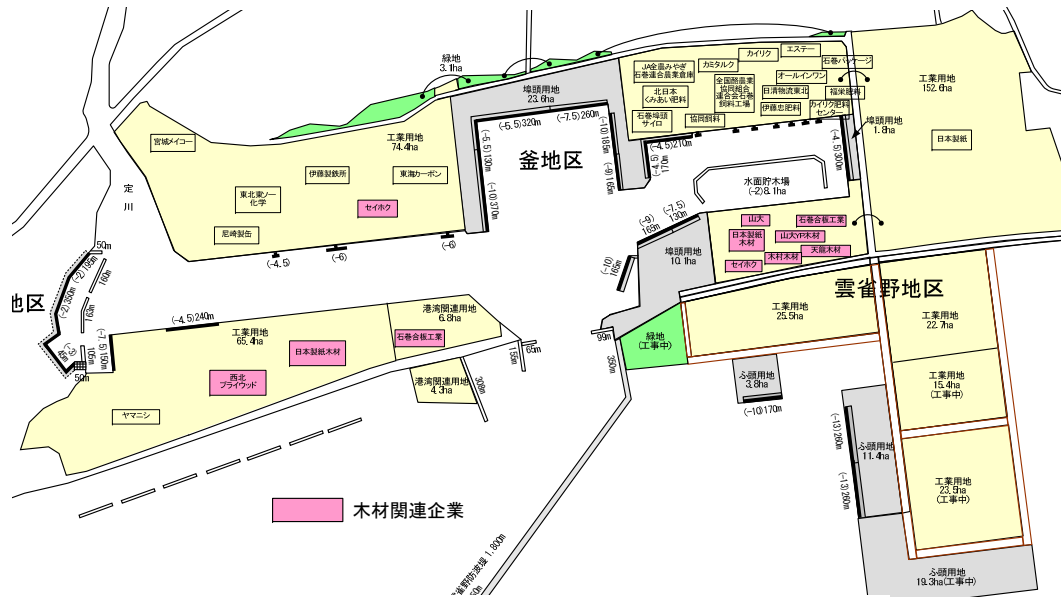
仙台湾は紙・パルプ産業の拠点

事例-3

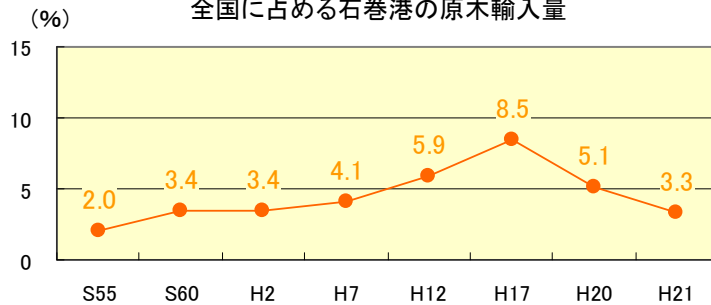
【原木輸入港の集約化の中で全国上位に位置する仙台湾】

- 原木輸入港の集約化が進む中で、仙台湾は全国第8位（H21）
- 多くの木材関連企業が立地しており、石巻広域圏の製造品出荷額等の約7%を占めている
- 仙台湾の原木輸入量の全国シェアは、約3%を占めている

木材関連企業立地状況

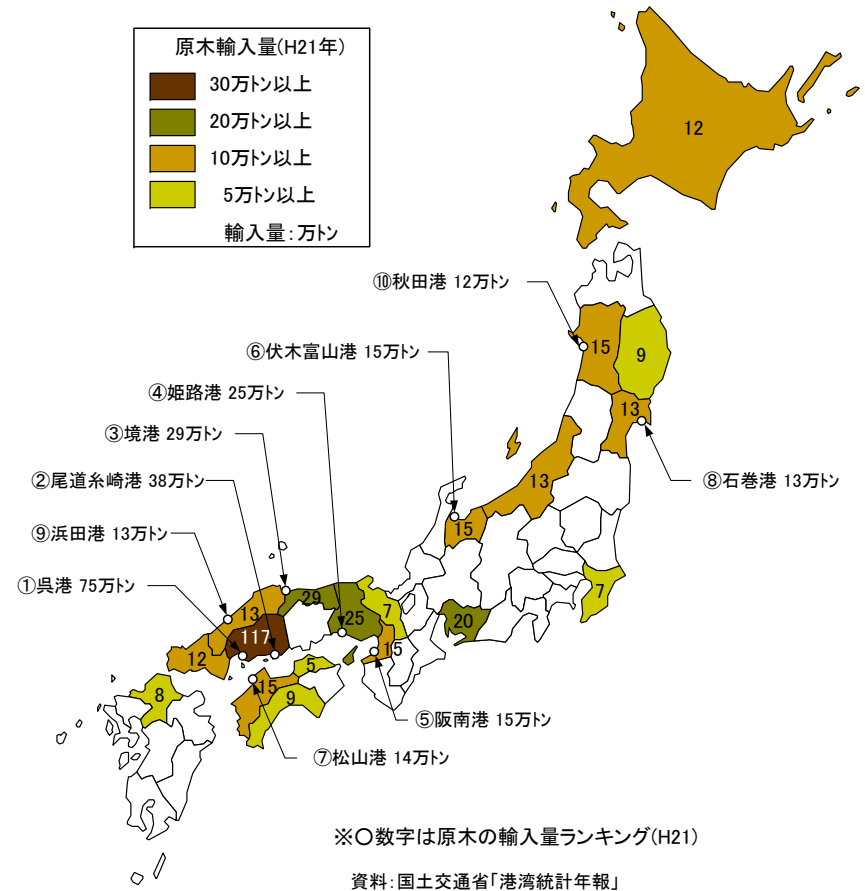


全国に占める石巻港の原木輸入量



※H12以前は製材を含む

我が国港湾の原木輸入量(H21)



仙台湾は全国有数の原木輸入拠点

(3) 広域観光連携の動き

1) 「伊達な広域観光圏」の動き

- 国土交通省観光庁では、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進するため「観光圏整備法」を制定し、全国で45地域(H22.7.27現在)、東北では6地域が選定されている。
- 仙台湾背後では「伊達な広域観光圏」が選定され、我が国を代表する観光資源の連携により国内外からの観光客の増加が期待されている。
- 代表的観光資源：日本三景松島、世界遺産・平泉、南三陸金華山国定公園、陸中海岸国立公園
- 仙台湾は「伊達な広域観光圏」の海の玄関口としての期待が高まっている。
- 「平泉」が世界遺産に登録(H23.6.26)された。

伊達な広域観光圏の取り組み



ゆつくりは伊達路

●伊達な広域観光圏●

伊達な広域観光圏

～ゆつくり滞在、伊達な時間(とき)を過ごす旅～

観光圏が目指すブランドイメージ

1. 伊達文化と奥州藤原文化
⇒多様性と深みのある地域
2. 豊富な体験型観光メニュー
⇒飽きずに滞在できる地域
3. 域内を移動しながらの長期滞在
⇒「おくのほそ道」のハイライト



中尊寺新覆堂

伊達な広域観光圏の概要

宮城県：仙台市、気仙沼市、大崎市、登米市、松島町、南三陸町、利府町
 岩手県：一関市、奥州市、平泉町
 以上2県にまたがる6市4町の全域
 ※藩政時代に仙台湾として一体であった地域

観光圏の数値目標

平成20年度から平成24年度の5年間で
 入込数を500万人、宿泊者数を94万人増やします
 観光客入込数 4,098.4万人 ⇒ 4,598.4万人
 域内宿泊者数 689.9万人 ⇒ 782.6万人

協議会の概要

【名称】伊達な広域観光推進協議会
 【構成員】区域内6市4町の
 ・自治体首長
 ・商工関係団体長
 ・観光関係団体長

協議会の組織

- 宿泊部会… 宿泊事業者を中心に、軸となる観光圏連泊プランを企画実施
- 作業部会… 自治体中心として、地域の取組をバックアップする



特に重要な事業

観光旅客の宿泊に関するサービスの改善及び向上に関する事業

- 伊達なグルメ料理開発推進事業
⇒各地に名物料理を開発して、旅行商品に組込
⇒相互試食会の開催による料理の知名度向上
- 伊達な連泊プラン造成事業
⇒宿泊部会を中心に、観光圏旅行プランを作成

観光資源を活用したサービスの開発及び提供に関する事業

- ゆつくり滞在プログラム開発事業
⇒体験メニューを組合せた旅行商品づくり
- 伊達な観光圏カブ? プリ・割引けが造成事業
⇒より多くの観光資源に触れてもらう仕組みづくり

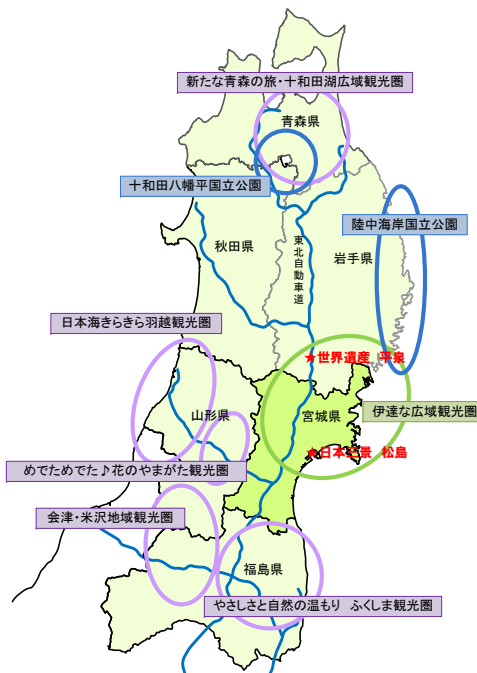
社会資本整備事業等との主な連携

- 仙台北部道路整備事業
⇒平泉と松島の間の移動時間が短縮される
- 登米志津川道路整備事業
⇒時間距離の短縮により、周遊型観光の促進を図る
- 名取川直轄総合水循環環境整備事業(広瀬川)
⇒市街地で黏りができる清流の魅力づくり
- 子ども農山漁村交流プロジェクト
⇒体験型観光の振興による、交流の拡大を図る

東北の広域観光圏と主要国立公園

- 東北は、6地域の広域観光圏の指定や全国的に著名な観光資源を活かし、観光客の増加に向けた取り組みが行われている。
- 東北新幹線の青森への延伸や多数の国際航路を有する仙台空港等、観光客誘致のためのインフラ整備も進んでいる。

◇東北の広域観光圏（伊達な広域観光圏を除く）



東北の広域観光圏	コンセプト・方針
新たな青森の旅・十和田湖広域観光圏	地域の自然環境と生活を体感させる環境と共生した広域観光圏
日本海きらきら羽越観光圏	日本海、山の神々、舟運、食を通じたおもてなし
めでためでた♪花のやまがた観光圏	温泉と健康、精神文化、二十四節気の食「ココロとカラダが健康になる旅」
会津・米沢地域観光圏	変わらぬめぐもり、変わる楽しみ 会津・米沢 千の旅回廊
やさしさと自然の温もり ふくしま観光圏	体験型観光、バリアフリー観光

◇空の玄関口 仙台空港

区分	航路	便数	航路	便数
国際線	グアム	4便/週	上海	3便/週
	ソウル	7便/週	台北	2便/週
	大連	2便/週	長春	2便/週
	北京	5便/週		
国内線	札幌	13便/日	大阪	15便/日
	成田	2便/日	広島	1便/日
	小松	1便/日	福岡	4便/日
	名古屋	5便/日	沖縄	1便/日

資料: 仙台空港ポータルサイト



仙台湾は東北の広域観光圏連携の拠点

◇世界遺産 平泉

登録名称	平泉 一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一
遺産の種別	文化遺産(記念工物・遺跡)
構成資産	中尊寺(ちゆうそんじ): 特別史跡 毛越寺(もうつうじ): 特別史跡・特別名勝 観自在王院跡(かんじざいおういんあと): 特別史跡・名勝 無量光院跡(むりょうこういんあと): 特別史跡 金鶏山(きんけいさん): 史跡

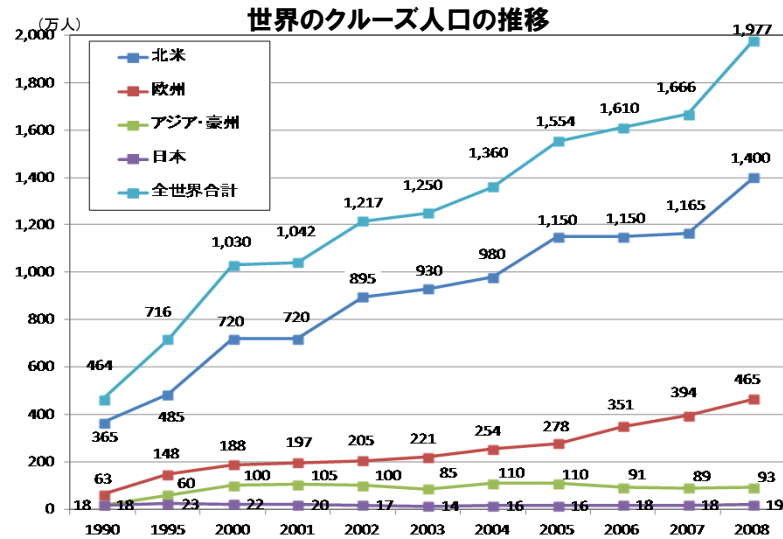


◇東北新幹線の青森延伸

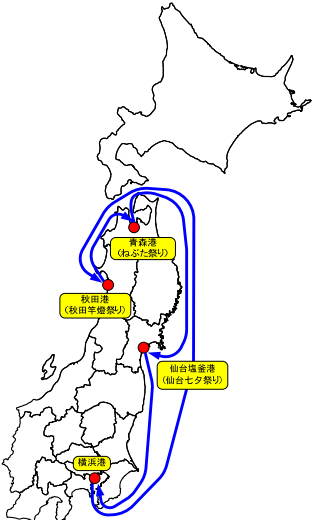


2) クルーズ需要の動き

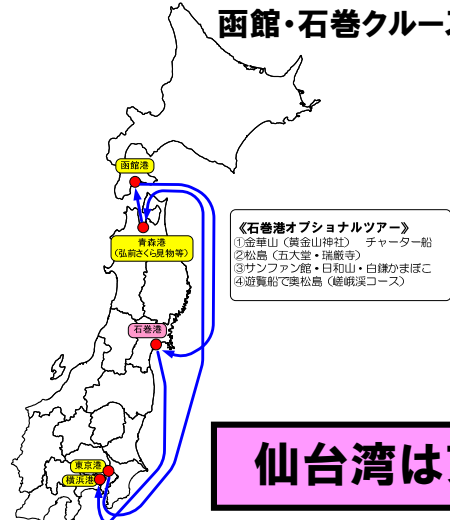
- 仙台湾は、東北港湾の中で、青森港に次ぐクルーズ船の寄港実績を有し、東北の海の玄関としての役割を果たしている。
- 「日本三景松島」「世界遺産・平泉」「南三陸金華山国定公園」「陸中海岸国立公園」などの豊富な観光資源を活かして、クルーズ船誘致の増加が期待される。



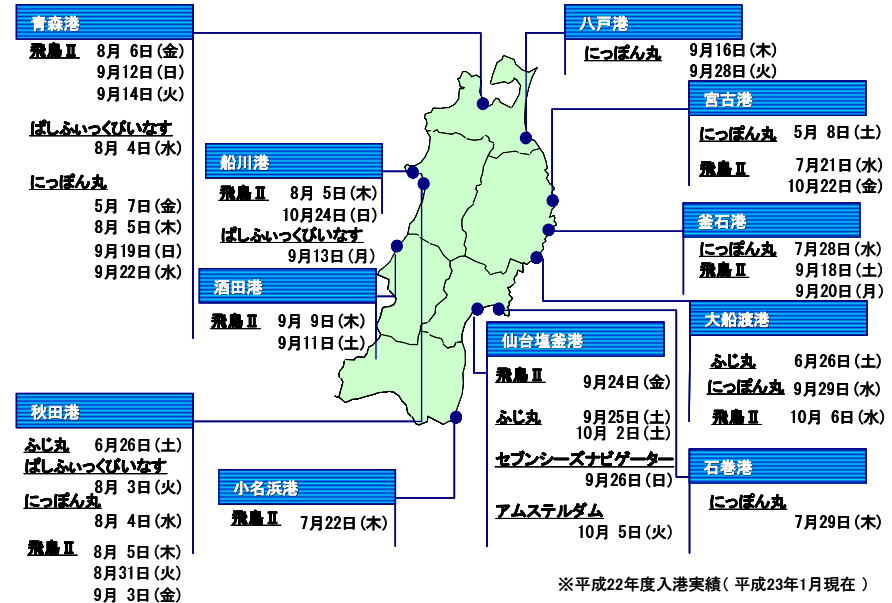
◇東北三大祭りクルーズ



◇弘前のさくら祭りと函館・石巻クルーズ



東北のクルーズ船寄港実績 (H22)



※平成22年度入港実績(平成23年1月現在)

クルーズ船寄港状況 (隻)

	H18	H19	H20	H21	H22
青森港	13	12	7	10	8
八戸港		1	1	1	2
久慈港					
宮古港	2	3	3	3	3
釜石港		2			3
大船渡港	2	2	2	5	3
仙台塩釜港	5	4	5	6	5
石巻港			2		1
能代港		2	2	1	
船川港	1	1	2	1	3
秋田港	5	5	3	5	6
酒田港	3	2	2	3	2
相馬港					
小名浜港		1		2	1
東北計	31	35	29	37	37

仙台湾は東北広域観光の海の玄関口

(4)仙台湾は東北のエネルギー供給拠点

①石油供給拠点

○仙台塩釜港（仙台港区）に立地しているJX日鉱日石エネルギー仙台製油所は東北唯一の製油所である。

○仙台塩釜港（塩釜港区）の石油配分基地には多数の油槽所が立地し、宮城県内のガソリンスタンド等に輸送している。

②電力供給拠点

○仙台塩釜港には、東北電力新仙台火力発電所（仙台港区）、仙台火力発電所（塩釜港区）が立地し、電力の供給を行っている。

③ガス供給拠点

○仙台港区に立地している仙台ガス局新港工場は、約36万戸に都市ガスを供給している。

仙台港区(仙台製油所)【震災後】



塩釜港区(塩釜油槽所)【震災後】



東北のエネルギー供給拠点

(5)仙台湾のポテンシャルのまとめ

- 東北のコンテナ貨物の仙台湾への集積が進んでいる
- 仙台湾は東北の自動車産業の海上輸送拠点
- 仙台湾は東北南部の飼料供給拠点
- 仙台湾は紙・パルプ産業の拠点
- 仙台湾は全国有数の原木輸入拠点
- 仙台湾は東北の広域観光圏連携の拠点
- 仙台湾は東北広域観光の海の玄関口
- 仙台湾は東北のエネルギー供給拠点



仙台湾は東北の物流・産業・エネルギー・観光を支える中枢拠点港湾